

投稿の手引き（第 70 巻 1 号より）

1. 投稿論文の種類と著者について

1. 本誌は大阪大学歯学会の機関紙であり、歯学に関する総説、原著論文、症例報告、抄録（総会、例会）、学位論文、会報その他を掲載する。
2. 本誌で投稿を受け付ける論文は、次のとおりである。①原著論文（学位論文を含む）、②総説（原則として歯学会から依頼したものに限る）、③症例報告、④その他。国内外を含めて他誌に未発表のものであること。
3. 本誌に投稿する著者は、原則として全員、大阪大学歯学会員に限る。ただし、歯学会より執筆を依頼した者は、この限りではない。
4. 投稿論文の著者は、すべて研究内容に対して実質的な貢献をした者であること。すなわち、①研究の構想やデータの収集やその解析に携わった者、②論文の執筆およびその内容の重要な点についての助言を行った者、③公表に当たり、その掲載内容の許諾が得られた者、でなければならない。
5. 単著にて原著論文、症例報告を投稿する場合は、著者の所属長の投稿承諾書（データ使用承諾書）を一緒に提出する。
6. 著者の所属先は明記すること。掲載決定後の所属先の変更は認めない。
7. 著者は、投稿論文の内容について、利益相反関係を申告しなければならない。また、申告の内容については、論文末尾、謝辞または文献の前に記載する。
8. 本誌への論文投稿の際に、表紙、本文、文献、表および図（写真）とともに、「セルフチェックシート」（様式 1）と「誓約書」（様式 2）を提出すること。

2. 研究倫理

1. 人を対象とする臨床研究、疫学研究に関しては、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号、平成 27 年 4 月 1 日施行）」にしたがったものでなければならない。被験者および患者からインフォームドコンセントを得ていること、および所属機関の倫理委員会の承認を得ていること（承認年月日、承認番号を含む）等を論文中に明記しなければならない。
2. 症例報告に関しては、「個人情報保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）」に従って、別に定めた個人情報保護に関する指針（附表 1）を遵守するとともに、発表に関する同意を患者自身あるいは代諾者から書面（同意書）で承諾を得る。
3. ヒトゲノムあるいは遺伝子解析に関する研究の発表を行う場合には、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、

平成 16 年 12 月 28 日全部改正)」に従ったものであること。また発表に際しては、試料提供者の尊厳および人権に十分配慮するとともに、社会に対する影響を考慮した上で論述すること。

4. ヒト幹細胞を用いた臨床研究を公表する場合には、「ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針（厚生労働省，平成 18 年 7 月 3 日告示，平成 22 年 11 月 1 日全部改正）」に従って，適正に実施されたものでなければならない。
5. 動物実験を含む研究発表を行う場合には、「動物の愛護及び管理に関する法律の一部を改正する法律（平成 17 年法律第 68 号，平成 17 年 6 月）」を遵守した上で，各研究機関が定めるガイドラインに従って適正に実施したものでなければならない。本文中に所属施設の動物実験委員会等の承認を得ていること（承認年月日，承認番号を含む）を明記しなければならない。
6. ここに述べた関連倫理指針については，監督省庁のホームページ等を参照の上，最新のものを参照すること。またここに明記された以外の研究であっても，該当する医学研究指針がある場合にはそれに従ったものでなければならない。

附表 1. 臨床・症例報告論文における患者プライバシー保護の指針

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1) 患者個人の特定が可能な氏名，診療録や入院番号，イニシャル等は記載しない。2) 患者の住所は記載しない。3) 日付は個人が特定できないと判断される場合でも年月までの記載にとどめる。4) 他の情報と診療科名等を照合することで患者が特定される場合は，これらの情報を記載しない。5) すでに他院などで診断・治療を受けている場合，その施設名ならびに所在地を記載しない。ただし救急医療などで搬送元の情報が不可欠の場合はこの限りではない。6) 顔写真を提示する際には目などの個人の特定に繋がる部位を隠す。7) 症例を特定できる生検や画像情報等に含まれる番号などは削除する。 |
|--|

3. 執筆要項

1. 論文の構成は，原著論文の場合，表紙，本文（緒言，材料と方法，結果，考察，結論，謝辞等），利益相反状態の記載，引用文献，図表の説明，図表（写真を含む）の順とする。なお英語論文，総説および症例報告論文の形式については別に定める。
2. 原稿は原則として Word で作成し，日本語は明朝体（全角文字），英語は Century もしくは Times New Roman（半角文字）を用いて，大きさ 10.5 ポイントで入力する。
3. 原稿はひらがな（現代かな使い法），横書きとし，漢字は学術用語など，特殊なものを除き，常用漢字を用いる。数字はすべて算用数字を用いること。外国人および地名はなるべく原語とする。

4. 学術用語については、日本歯科医学会学術用語集 第3版（日本歯科医学会編，医歯薬出版，2018年）あるいは日本医学会医学用語辞典（日本医学会医学用語管理委員会編，南山堂，2007年）に準拠する。
5. 本文中でたびたび使用する単語については，略語，略号を用いてもかまわないが，この場合で切る限り国際的に慣用されているものを用いる。また略語，略号は，その単語の初出時にフルネーム（略語等）のように記載し，必ず定義してから用いる。
6. 単位は原則として SI 単位系を使用する。
7. 本文中に複数の著者による論文を著者名で引用する場合，著者2名の場合には「と」または「and（英文の場合）」で連記し，3名以上は最初の1名のみを記入し，以降の著者名は割愛し「...ら」あるいは「...et al.（英文の場合）」と記載する。
8. 利益相反状態の記載について，以下の例を参考に記載する。

【利益相反状態にある場合の記載例】

今回の論文に関連して，開示すべき利益相反状態は以下の通りです。

- ・報酬／〇〇製薬株式会社
- ・原稿料／△△△株式会社
- ・研究費・助成金（寄付講座所属）／株式会社×××

【利益相反状態に無い場合の記載例】

今回の論文に関連して，開示すべき利益相反状態はありません。

9. 図は，PowerPoint，Illustrator で作成し，PDF，TIFF または JPEG 形式にして投稿する。それ以外のドロー系ソフトのデータは PDF にするか，または原寸で 600dpi 以上の画像にする。なお Microsoft PowerPoint、JPEG や PDF 形式などの画像の場合は解像度が低くならないよう注意されたい。
10. 写真は，Photoshop，JPEG，TIFF，BMP，EPS 形式のデータ。原寸で 350dpi 以上が必要である。
11. 表は，Word，Excel で作成したデータが望ましい。
12. 図，写真，表などは図と表に分類して番号を付ける。図・表には，番号以外にそのみで理解できる表題と説明を付ける。図・表の説明は，まとめて引用文献の後に記載する。
13. 図，写真，表はカラー・モノクロの指定を行うこと。図・表を単色で作成する場合は黒で記載し，カラーを希望する場合は著者自身で配色した上でカラーデータを添付して投稿すること。
14. 原稿中にすでに発表された図表・文章を再利用するときは，図表の説明文中に出典元を明記する。また，転載許諾が必要な図表を使用する際には，必ず著者の責任で転載元の出版社から許諾を取る。
15. 脚注には著者の所属（公式の名称を用いる），学会発表および科学研究費等の記事のみを記載し，所属の異なる著者名には注番号をつけて区別する。謝辞等は本文末尾に付記する。

16. 原稿の表紙は、①総説、原著、症例報告の種別、②論文表題、著者の所属、著者名、③原稿総紙数(図、表を含む)、④カラー印刷の有無と点数、⑤別刷希望数(10部単位とする)、⑥連絡先(氏名、所属、宛先、電話番号、メールアドレス)を記入する。
17. 原稿は審査の上、その掲載の採否を決定する。掲載にあたっては原稿の修正を求めることがある。

4. 引用文献の表記ルール

1. 文献は本文末尾に一括して引用順に記載し、番号を付する。
2. 雑誌の表記順：著者名(発行年)：論文表題. 雑誌名, 巻, 最初-最後頁
3. 単行本の表記順：著者名(発行年)：書名(編者名), 版, 出版社, 最初-最後頁
4. 著者名が複数であっても省略しないこと。
5. 英文書の場合は、書名および雑誌名をイタリックにする。
6. 雑誌の場合は、巻数をゴシックとする。
7. 雑誌の場合は、以下の表記例に従う。
 - 1) Bross, P. and Wolf, A.T. (1957) : Tumors of the minor salivary glands. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol*, **10**, 530-539.
 - 2) 伊藤大吉, 植田学 (1958) : 歯槽膿漏症に関する研究, I. 成因に関する研究. 阪大歯学誌, **8**, 15-22.
8. 単行本の場合は、以下の表記例に従う。
 - 3) Holland, G.C., Evans, K. and Goldstein, E. (1953) : *Problems in dental local anesthesia* (McManus, P.R., editor). Ed. 2, ABC Co., 123-134.
 - 4) 須崎一郎 (1957) : 伝達麻酔法; 口腔治療学 (山本五郎, 水木孝 編). 5版, 小川書房, 24-40.

5. デジタルデータ出稿の詳細

1. 原則としてUSBまたはCD-Rで投稿する。
2. 使用ソフトから出力したプリントをつける。
3. ディスク等に論文題名、著者名、使用OS、使用ソフト名とそのバージョンを記入する。
4. 原則として本文はWordで作成し、Wordファイルのまま投稿する。本文中に図、写真や表の挿入箇所を明記し、それらの説明も入れる。
5. 図は、Excel, PowerPoint, Illustratorで作成し、PDF, TIFFまたはJPEG形式にして投稿する。それ以外のドロー系ソフトのデータはPDFにするか、または原寸で600dpi以上の画像にする。Illustratorに配置する場合も解像度の低い画像は不可。
6. 写真は、Photoshop, JPEG, TIFF, BMP, EPS形式のデータ。原寸で350dpi以上が必要である。

7. 表 : Word, Excel で作成したデータが望ましい。
サイズ: 図, 表, 写真は, 縮小率 (左右〇〇cm) など仕上がりサイズを明記する。特に
こだわりのない場合は省略可。
8. すべてのデジタルデータ原稿はアンチウイルスソフトを使用して, ウイルスに感染し
ていないことを確認する。

6. 掲載料など

1. 原稿の掲載料は, 図, 表を含め原則として全てを著者負担とする。原稿の不備等により
3 校以上の校正が必要な場合, あるいは著者の都合により校正段階で大幅な修正が生じ
る場合は, 別途加算請求する。
2. 掲載料は 1 頁あたり 6,000 円。
3. 歯学会から依頼した総説について, 掲載料は無料である。
4. 別刷を希望する場合はすべて実費とし, 必要部数を投稿時に表紙に記載する。
5. 論文掲載受理日は, 編集委員長から採択可と判定された日とする。掲載証明の発行に関
しては, 別途定める編集委員会の規約に従う。

7. 著作権

1. 本誌に掲載された論文, 抄録などの著作権は, 大阪大学歯学会に帰属する。
2. 本誌は, 発行から 1 年間, 会員のみが Web 閲覧することができる。
3. 本会は, これら著作物の全部または一部を, 本会のホームページ, 本会が認めたネット
ワーク媒介において掲載し, 出版することができる。本誌に掲載された論文等は掲載か
ら 1 年後に大阪大学学術情報庫 OUKA(The University of Osaka Institutional
Knowledge Archive)を通して無料で公開する。
4. 本会は, 各論文のリンクを貼ることを許諾しているが, 本会サイト以外に PDF や原稿
を載せることを認めていない。
5. 本誌に掲載された論文・抄録・図表・画像等のすべてのコンテンツを、生成系 AI (大
規模言語モデル・画像生成モデル等) の学習用データとして複製・入力・提供すること
を認めていない。

8. 連絡先

(〒565-0871) 大阪府吹田市山田丘 1-8 大阪大学歯学部内
大阪大学歯学会編集委員会 電話・ファックス: (06) 6875-8300 内線 2044
大阪大学歯学会ホームページアドレス: <http://ouds.dent.osaka-u.ac.jp/>